

鳥取市の未来は パワー 若者の力で！

結成されて丸3年の鳥取市若者会議。
ますます元気に活動する若者たちの活動を紹介します。

問い合わせ先 市役所本庁舎企画調整課 ☎ (0857) 20-3153

平成22年1月24日に行われた鳥取市若者議会のようす

若者たちが夢をかなえる

「鳥取市は私たちにとって面白いまちなんだろうか」楽しくするには私たち自身が行動しないといけない」「同じ世代の人たちは、どんなことを考えているんだろうか」

こんな思いを胸に、平成19年1月に始まった鳥取市若者会議。その元気の活動は、3年を迎えました。

取り組むテーマを自分たちで見つけ、研究や視察などで知識を深め、実際にまちに飛び出て活動をしたり、成果を参加者のみなさんに楽しんでもらったりしています。

楽しみながら議論

若者会議の主人公は、鳥取市内に在住する30歳未満の若者たちです。大学や商工会議所などの団体からの推薦と、公募で約30人が集まり、10人ずつくらいのグループに分かれて議論します。

所属団体はそれぞれさまざま。今年度から途中参加した松尾慶輔まつおけいすけさんは「意外とすんなりとけ込めました。仕事で

は出会えない人たちと同じ目的を共有できたことは、何物にも代えがたいですね」と話すように、同じ目標を持つみなさんが、構えることなくつきあい、楽しみながら議論しています。

会長の山口奈穂子やまぐちなほこさんは、発足当初からの参加者です。「普段から志を持って活動している人が多いですね。私はまだまだ。本当に『ゼロ』の所から考え始めるんですが、面白い意見がたくさん出て、気楽に参加できました」と、活動を振り返ります。

特徴的な取り組み

若者会議の活動が進む中で、実践的な取り組みも生まれました。

「使われなくなった議場を、市民が楽しむ場にできないか」。こんな発想で生まれたのが、「鳥取議場シネマ」です。議場に残る議席をそのまま観客席として使い、鳥取ではなかなか見られないミニシアター系の映画を上映しました（平成19年11月）。この取り組みは、全国的にもメデイ

若者会議のこれまでの取り組み

● 第1期メンバーによる活動

(平成19年1月～平成20年3月)

平成19年6月～11月

観光振興による鳥取市の活性化について研究し、市内の各所を視察

平成19年7月

ガイナレ鳥取の支援と地域の活性化について研究し、(株)SC鳥取塚野真樹社長と意見交換

平成19年11月

若者が集い、交流する仕組みづくりを研究し、使わなくなった旧町議会議場を使った「鳥取議場シネマ」を開催

● 第2期メンバーによる活動

(平成20年5月～平成22年3月)

平成21年9月、12月

若者が定住し、交流しやすい仕組みづくりについて研究し、婚活イベントを2回実施



平成21年10月

鳥取の食材を活かした地域づくりについて研究し、とうふちくわを使った新しい「スイーツ」(おやつ)を開発・試験販売



平成21年10月

屋上緑化による環境保護について研究し、兵庫県三木市のビーンズドームを視察

募集

若者会議第3期メンバー

市政の諸課題をテーマにグループ会議や視察などを行う若者会議の第3期メンバーを募集します。

3月31日(水)必着で「私の考える鳥取市の将来像」をテーマに意見・提案などを400字程度にまとめ、住所、氏名(フリガナ)、生年月日、性別、電話番号を明記のうえ、下記までお送りください。※書類選考のうえ、面接を行います。

定員 15人程度

条件 市の取り組みに関心を持ち、地域活動などまちづくりに積極的に参加する熱意があり、平成22年4月1日現在、鳥取市に在住する原則年齢18～30歳の人(高校生除く)

任期 4月～平成24年3月(予定) ※会議は月1回程度開催

報償金 3000円/月(月1回以上出席の場合、予定)

応募先 市役所本庁舎企画調整課

☎(0857)20-3153 ☎(0857)21-1594

✉kikaku@city.tottori.lg.jp

第2期の会長を務めた

山口奈穂子さん



若者会議が発足した当初から参加しました。何かの役に立てればと思って参加したんですが、最初は何も見えず苦労しました。

私のグループはスイーツをテーマにしました。どこでPRするか、どこで食べられるかということまで間に合わなかったのですが、このテーマを次の代に引き継いで、まだまだ続けてほしいですね。もう若者という年代ではないですが、これ以降もサポート役として何か手伝えたらと思っています。

今年度から新たに参加した

松尾慶輔さん



婚活イベントを企画しましたが、営利を目的としたイベントではないので、予算に限りがあるのに苦労しました。どうやったら盛り上がるかということで、「共同」をテーマ

にしました。1回目は地引き綱、2回目はピザづくりと、一緒に作業をする内容にしたんです。

「時間」がとられるという負担や苦労は仕方ありません。それより、若者会議の活動で得たものの方が大きいですね。

若い発想を市政へ

1月24日(日)には、市庁舎の議場を使って「鳥取市若

アを通じて紹介されました。また、「鳥取特産のとうふちくわを使った新しいメニューが作れないか」と悩んだ末に生まれたのが「とうふれくパフェ」。「豆腐ととうふちくわを使ったユニークなスイーツ(おやつ)です。昨年10月に開催された鳥取B級グルメフェスタ2009で販売され、600食を完売しました。

者議会」が行われました。市長など執行部に対し「鳥取ブランドの創出」「鳥取砂丘の利活用」など、さまざまな提言を行いました。

日本全国で活力の低下が「地方」を覆い尽くそうとしています。そうした中、将来を担う若い世代の発想や提案を市政に活かし、再び活力ある地域を取り戻すことが急務になっていきます。そのためにも、本市は今後も鳥取市若者会議を支援していきます。